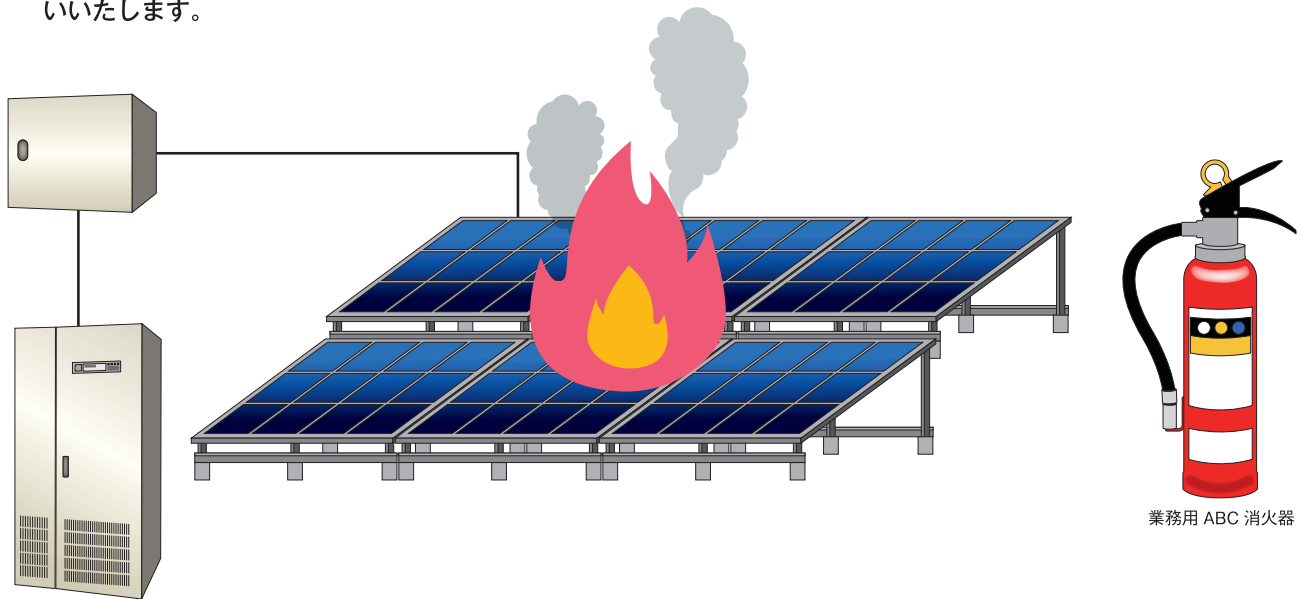




## 太陽光発電システムの火災発生時の対応

屋上などへの設置が増加している太陽光発電システム。定期点検の不実施はもとより、地震・台風といった災害時には火災発生の危険性があります。もし太陽光発電システムから煙や火が見えた場合、下記の対応をお願いいたします。



- ① PCS(パワコン)の運転スイッチを切るなどして、太陽光発電システムを停止させてください。
- ② 消火器がある場合、電気用(一般には業務用 ABC 消火器)であれば初期消火をしましょう。  
※有毒ガスが発生している場合や、感電する場合がありますので絶対に近づかないようにしましょう。  
また、風下に行かないでください。
- ③ 必ず119番通報してください。その際に火元が太陽光発電システムであることを伝えてください。
- ④ 担当の電気主任技術者もしくは 0120-81-2499 (日本テクノ24時間監視センター) へご連絡ください。
- ⑤ 施工工事会社や電気工事会社に連絡を入れ、太陽光発電システムが出火した旨を伝え、対応を依頼してください。
- ⑥ 消防、電気主任技術者の到着後、その指示に従ってください。

**発電パネルはわずかな光があると発電を続けます。  
鎮火しても絶対に近づかないでください。  
消火後は、必ず専門家に相談してください。**